

山口市阿東地福では、毎年1月14日の夜、新しい年の五穀^{ほうじょう}豊穰などを祈る「トイトイ」と呼ばれる伝統行事が、子どもたちによって行われています。このような行事からも、日本古来の農業への強い思いが感じられます。

さて、今回は農林業センサスのお話です。昨年11月に2015年農林業センサス調査結果（速報）が公表されました。この調査は、国内の農林業の就業構造や農山村地域の実態を把握するために5年ごとに実施されています。

グラフのとおり、本県の農業就業者は、約2万8千人と前回の調査から約7千人（約20%）減少しました。30年前と比較すると約3分の1にまで減少しています。また、その平均年齢も70.3歳（全国平均66.3歳）と、島根県に次いで全国で2番目に高くなっています。

このように就業者の減少と高齢化が進んでいますが、今回、40歳未満の就業者が増加していることも分かりました。

農業就業者などを増やしていくため、現在、県では「就業するなら山口県」をキャッチフレーズに、新規就業者の募集から定着まで一貫した「日本一の農林水産業担い手支援」を実施しています。

来月6日（土）には山口市で、就業希望者などを対象に「農林水産業新規就業ガイダンス」を開催します。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。問い合わせは県農林水産政策課（電話083・933・3323）へ。

